



令和6年3月定例会

大館市議会会議録（第1号）

自 令和6年2月26日 開会
至 令和6年3月18日 閉会

大 館 市 議 会

2月26日（月曜日）

第1日目

令和6年2月26日（月曜日）

議事日程第1号

令和6年2月26日（月曜日）

開 会 午前10時

議長報告

- 第1 議席の一部変更
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 会期の決定
- 第4 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 議席の一部変更

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 議案の上程

- 1. 報 第1号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
- 2. 報 第2号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
- 3. 報 第3号 令和4年度大館市下水道事業会計継続費精算報告書
- 4. 認 第1号 専決処分の承認について（大館市手数料条例の一部を改正する条例）
- 5. 認 第2号 専決処分の承認について（令和5年度大館市一般会計補正予算（第11号））
- 6. 認 第3号 専決処分の承認について（令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第5号））
- 7. 認 第4号 専決処分の承認について（令和5年度大館市一般会計補正予算（第12号））
- 8. 議案第1号 大館市比内福祉保健総合センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 9. 議案第2号 大館市田代いきいきふれあいセンターに関する条例の一部を改正する条例案

10. 議案第 3 号 大館市田代老人福祉センターに関する条例の一部を改正する条例案
11. 議案第 4 号 大館市介護予防拠点施設に関する条例の一部を改正する条例案
12. 議案第 5 号 大館市高齢者生きがいセンターに関する条例の一部を改正する条例案
13. 議案第 6 号 大館市斎場に関する条例の一部を改正する条例案
14. 議案第 7 号 大館市ペット霊園に関する条例の一部を改正する条例案
15. 議案第 8 号 大館市エコプラザに関する条例の一部を改正する条例案
16. 議案第 9 号 大館市北地区コミュニティセンターに関する条例の一部を改正する条例案
17. 議案第 10 号 大館矢立ハイツに関する条例の一部を改正する条例案
18. 議案第 11 号 大館総合技能センターに関する条例の一部を改正する条例案
19. 議案第 12 号 大館労働福祉会館に関する条例の一部を改正する条例案
20. 議案第 13 号 大館市二井田市民集会所に関する条例の一部を改正する条例案
21. 議案第 14 号 大館市観光交流施設に関する条例の一部を改正する条例案
22. 議案第 15 号 大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案
23. 議案第 16 号 大館市たしろ温泉ユップラに関する条例の一部を改正する条例案
24. 議案第 17 号 大館市プルミエ比内に関する条例の一部を改正する条例案
25. 議案第 18 号 大館市ベニヤマ自然パークに関する条例の一部を改正する条例案
26. 議案第 19 号 大館市農林業多目的研修集会施設等に関する条例の一部を改正する条例案
27. 議案第 20 号 大館市コンポストセンターに関する条例の一部を改正する条例案
28. 議案第 21 号 大館市高齢者・若者センターに関する条例の一部を改正する条例案
29. 議案第 22 号 大館市構造改善センターに関する条例の一部を改正する条例案
30. 議案第 23 号 大館市営牧場に関する条例の一部を改正する条例案
31. 議案第 24 号 大館市公園条例の一部を改正する条例案
32. 議案第 25 号 大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案
33. 議案第 26 号 大館市定住化促進住宅に関する条例の一部を改正する条例案
34. 議案第 27 号 大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案
35. 議案第 28 号 大館市松下村塾に関する条例の一部を改正する条例案
36. 議案第 29 号 大館市桜櫓館に関する条例の一部を改正する条例案
37. 議案第 30 号 大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案
38. 議案第 31 号 大館市立鳥潟会館に関する条例の一部を改正する条例案
39. 議案第 32 号 大館市民舞伝習館に関する条例の一部を改正する条例案
40. 議案第 33 号 大館市立体育館に関する条例の一部を改正する条例案
41. 議案第 34 号 大館市花岡総合スポーツ公園に関する条例の一部を改正する条例案

42. 議案第 35 号 大館市民文化会館に関する条例の一部を改正する条例案
43. 議案第 36 号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案
44. 議案第 37 号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
45. 議案第 38 号 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案
46. 議案第 39 号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
47. 議案第 40 号 大館市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
48. 議案第 41 号 大館市新型コロナウイルス感染症対策基金に関する条例を廃止する条例案
49. 議案第 42 号 大館市手数料条例の一部を改正する条例案
50. 議案第 43 号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
51. 議案第 44 号 大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案
52. 議案第 45 号 大館市立老人福祉センターに関する条例を廃止する条例案
53. 議案第 46 号 大館市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
54. 議案第 47 号 大館市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
55. 議案第 48 号 大館市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
56. 議案第 49 号 大館市指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
57. 議案第 50 号 大館市農林水産物直売施設に関する条例を廃止する条例案
58. 議案第 51 号 大館市農村婦人の家に関する条例を廃止する条例案
59. 議案第 52 号 大館市高齢者生産活動施設に関する条例を廃止する条例案
60. 議案第 53 号 大館市建築関係手数料条例の一部を改正する条例案
61. 議案第 54 号 大館市消防団員の服務及び懲戒に関する条例案
62. 議案第 55 号 大館市空家等対策の推進に関する条例及び大館市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例案
63. 議案第 56 号 大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
64. 議案第 57 号 大館市水道事業等布設工事監督者の資格基準等を定める条例の一部を改正する条例案

- 65. 議案第 58 号 大館市水道給水条例の一部を改正する条例案
- 66. 議案第 59 号 大館市小規模水道等給水条例の一部を改正する条例案
- 67. 議案第 60 号 大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
- 68. 議案第 61 号 大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約の締結について
- 69. 議案第 62 号 基本構想の策定について
- 70. 議案第 63 号 旧慣使用権の廃止について（山館字館ノ下地内）
- 71. 議案第 64 号 市道路線の廃止について（大館駅東大館線外 7 路線）
- 72. 議案第 65 号 市道路線の認定について（東台 7 丁目 10 号線外 17 路線）
- 73. 議案第 66 号 令和 5 年度大館市一般会計補正予算（第 13 号）案
- 74. 議案第 67 号 令和 5 年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）案
- 75. 議案第 68 号 令和 5 年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案
- 76. 議案第 69 号 令和 5 年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）案
- 77. 議案第 70 号 令和 5 年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）案
- 78. 議案第 71 号 令和 5 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）案
- 79. 議案第 72 号 令和 5 年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第 2 号）案
- 80. 議案第 73 号 令和 5 年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第 1 号）案
- 81. 議案第 74 号 令和 5 年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）案
- 82. 議案第 75 号 令和 5 年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第 2 号）案
- 83. 議案第 76 号 令和 5 年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案
- 84. 議案第 77 号 令和 5 年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第 2 号）案
- 85. 議案第 78 号 令和 5 年度大館市財産区特別会計補正予算（第 2 号）案
- 86. 議案第 79 号 令和 5 年度大館市水道事業会計補正予算（第 4 号）案
- 87. 議案第 80 号 令和 5 年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第 4 号）案
- 88. 議案第 81 号 令和 5 年度大館市下水道事業会計補正予算（第 4 号）案
- 89. 議案第 82 号 令和 5 年度大館市病院事業会計補正予算（第 6 号）案
- 90. 議案第 83 号 令和 6 年度大館市一般会計予算案
- 91. 議案第 84 号 令和 6 年度大館市国民健康保険特別会計予算案
- 92. 議案第 85 号 令和 6 年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
- 93. 議案第 86 号 令和 6 年度大館市介護保険特別会計予算案
- 94. 議案第 87 号 令和 6 年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
- 95. 議案第 88 号 令和 6 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
- 96. 議案第 89 号 令和 6 年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案

97. 議案第90号 令和6年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
 98. 議案第91号 令和6年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
 99. 議案第92号 令和6年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
 100. 議案第93号 令和6年度大館市温泉開発特別会計予算案
 101. 議案第94号 令和6年度大館市奨学資金特別会計予算案
 102. 議案第95号 令和6年度大館市都市計画事業特別会計予算案
 103. 議案第96号 令和6年度大館市土地取得特別会計予算案
 104. 議案第97号 令和6年度大館市財産区特別会計予算案
 105. 議案第98号 令和6年度大館市水道事業会計予算案
 106. 議案第99号 令和6年度大館市工業用水道事業会計予算案
 107. 議案第100号 令和6年度大館市下水道事業会計予算案
 108. 議案第101号 令和6年度大館市病院事業会計予算案

出席議員（26名）

1番	吉田 勇一郎 君	2番	菅原 喜博 君
3番	田中 耕太郎 君	4番	花岡 有一 君
5番	藤原 明 君	6番	伊藤 毅 君
7番	秋元 貞一 君	8番	佐々木 公司 君
9番	武田 晋 君	10番	今泉 まき子 君
11番	伊藤 深雪 君	12番	小畑 新一 君
13番	石田 健佑 君	14番	金谷 真弓 君
15番	明石 宏康 君	16番	柳館 晃 君
17番	田村 秀雄 君	18番	田村 儀光 君
19番	日景 賢悟 君	20番	石垣 博隆 君
21番	工藤 賢一 君	22番	花田 強 君
23番	岩本 裕司 君	24番	相馬 エミ子 君
25番	吉原 正 君	26番	佐藤 芳忠 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市	長	福原 淳嗣 君
副 市	長	北林 武彦 君
総 務 部	長	日景 浩樹 君

総務課長	佐々木 みゆき 君
財政課長	若松 健 寿 君
市民部長	伊藤 良 晋 君
福祉部長	畠 沢 昌 人 君
産業部長	畠 山 俊 英 君
観光交流スポーツ部長	阿 部 拓 巳 君
建設部長	柏 山 一 法 君
会計管理者	成 田 政 仁 君
病院事業管理者	吉 原 秀 一 君
市立総合病院事務局長	桜 庭 寿 志 君
消 防 長	虻 川 茂 樹 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	成 田 浩 司 君
選挙管理委員会事務局長	富 樫 太 君
農業委員会事務局長	鳥 潟 克 次 君
監査委員事務局長	畠 沢 依 子 君

事務局職員出席者

事務局長	乳 井 浩 吉 君
係 長	萬 田 文 英 君
主 査	大 高 尚 吾 君
主 査	渡 部 慎 也 君
主 査	北 林 麻 美 君

午前10時00分 開 会

○議長（武田 晋君） これより、令和6年大館市議会3月定例会を開会いたします。

出席議員は定足数に達しております。

よって、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

日程に入ります前に、諸般の報告を行います。

委員の辞任及び選任について、御報告いたします。去る令和5年12月8日に、明石宏康君から議会運営委員の辞任願が出され、これを許可いたしました。これに伴い、令和5年12月27日に、新たに吉原正君を議会運営委員に選任いたしました。また同日、金谷真弓君と花田強君から所属委員会変更の申出があり、金谷真弓君を厚生常任委員会から教育産業常任委員会に、花田強君を教育産業常任委員会から厚生常任委員会に、それぞれ所属を変更いたしました。

その他の報告は、配付しております文書により御了承願います。

日程第1 議席の一部変更

○議長（武田 晋君） 日程第1、議席の一部変更を議題といたします。

議員の所属会派の異動に伴い、会議規則第4条第3項の規定により、議席の一部を変更したいと思います。

お諮りいたします。

ただいま御着席のとおり、議席の一部を変更することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋君） 御異議なしと認めます。

よって、ただいま御着席のとおり、議席の一部を変更することに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（武田 晋君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、14番 金谷真弓君、15番 明石宏康君、16番 柳館晃君を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○議長（武田 晋君） 日程第3、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から3月18日までの22日間と定めたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から22日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。

日程第4 議案の上程

○議長（武田 晋君） 日程第4、議案の上程を行います。

報第1号から同第3号まで、認第1号から同第4号まで、及び議案第1号から同第101号までの以上108件を一括上程いたします。

提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

○市長（福原淳嗣君） 3月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、12月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、能登半島地震における被災地支援について。1月1日に発生した令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために御尽力されている皆様に深く敬意を表します。大館市では1月10日から14日までの間、医療支援を行うため、総合病院の災害派遣医療チーム（DMAT）を医師1人を含む5人態勢で石川県輪島市に派遣したほか、1月23日から27日までの間、2次避難所での医療支援や健康管理を目的とする災害医療チーム（JMAT）を医師2人を含む4人態勢で石川県加賀市に派遣しました。また、地盤の液状化で大きな被害が出ている新潟市において家屋の被害認定調査を行うため、1月25日から2月1日まで、建築士1人、土木技師1人を派遣しました。このほか、一般社団法人北前船交流拡大機構を通じてつながりのある石川県輪島市と志賀町の業務負担軽減のため、災害支援を目的としたふるさと納税の代理受付業務を1月10日から実施しております。代理受付は3月末まで行うこととしており、2月20日現在、輪島市への177件327万5,000円、志賀町への42件120万1,000円をお預かりしています。今後も、1日も早い復旧・復興の一助となるよう被災地に寄り添い、積極的な支援に取り組んでまいります。

2、空き家対策に係る協定の締結について。空き家対策の充実、強化を図るため、1月31日に株式会社クラッソーネと空家等の除却促進に係る連携協定を締結しました。内容は、同社が持つIT技術や豊富なデータを活用した空き家解体費用のシミュレーションや、空き家に関する情報の連絡フォームを無償で活用させていただくものであります。解体費用のシミュレーションについては、2月20日現在、既に42件の利用があるなど、協定締結が空き家解体の促進や実態把握の負担軽減、効率的な情報収集につながるものと捉えております。今年度実施した調

査では、市内の空き家は4年前より666戸増加し2,464戸を確認しております。現在、大館市空家等対策計画の改定作業を進めており、管理不全な空き家の発生抑制などの施策を強化してまいります。

3、ふるさと納税の状況について。12月末時点で寄附件数が5万762件、金額にして10億7万円と、過去最高額となった昨年度の寄附総額9億7,823万円を既に上回り、年間目標としていた10億円に到達しました。一方、年末に駆け込みで寄附申込が集中したため、返礼品のあきたこまちの一部品目に在庫不足が生じ、寄附者の方に御迷惑をおかけする事態が発生いたしました。これまで、ふるさと納税事業者会や大館商工会議所とともに本制度を活用した地域経済の活性化に一丸となって取り組んでまいりましたが、大館のブランド力が高まる中で需要の増加に対応できない構造的な課題を強く感じたところであります。この課題解決に向けて、返礼品の主力品目である米の在庫確保に努めることはもとより、安定した供給量を確保するためのハード整備や返礼品の磨き上げにつながる投資への支援を進めてまいります。さらに、地元産品や観光資源を活用した商品やサービスをプロデュースできる地域商社の存在が鍵になるものと捉えており、その創出に向けた環境づくりにも取り組みたいと考えております。本市の様々な産品が持つポテンシャルから見ると、寄附額10億円達成はあくまで一つの通過点と考えています。さらなる寄附者獲得に向けて、生産者や事業者の皆様、中間管理事業者の大館商工会議所とカメイ株式会社とともに返礼品の拡充強化を図り、質・量ともに安定供給できる体制を構築しながら大館ブランドのさらなる向上に取り組み、関係人口の一層の拡大と地域の活性化につなげてまいります。

4、物価高騰対策支援事業について。住民税非課税世帯と家計急変世帯に対し、1世帯当たり7万円を支給する電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業では、12月26日に対象世帯の約90%、8,185世帯にプッシュ型で支給し、2月20日現在、申請が必要な世帯を含め8,758世帯に6億1,306万円を支給しております。また、住民税非課税世帯等1世帯当たり8,000円を支給する灯油購入費緊急助成事業では、2月20日現在、7,886世帯に6,308万円を支給しております。福祉関連事業者への支援については、物価高騰の影響を受けている事業所等の経営の安定化を図るため、食材料費及び光熱費の一部について助成しております。2月20日現在、障害者通所・入所施設34施設、訪問相談支援事業所3施設、介護入所施設及び通所施設等73施設、訪問相談支援事業所34事業所、保育所等14施設に対し、合わせて2,904万円を助成しております。さらに、住民税均等割のみ課税世帯への10万円給付と、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯の18歳以下の児童1人当たり5万円を給付する事業については、1月31日付で専決処分させていただき、3月末からの支給に向けて準備を進めているところであります。

5、物価高騰に係る事業者支援策の状況について。コロナ禍を経て、産業構造や社会システムが大きく変化する中、物価高騰の影響を受け厳しいコスト負担を強いられている中小事業者への支援策として、6月から12月にかけて事業継続力強化事業を実施してまいりました。これは、

脱炭素化を通じて経済と社会の変革を図るグリーントランスフォーメーション（GX）やデジタル技術の活用によりビジネスモデルを革新するデジタルトランスフォーメーション（DX）、新たなブランド製品の創出など経営の継続・拡大に向けた各事業者の取組を推進するもので、70事業者を支援したところです。1月からは内容の見直しと拡充を図り、新たな支援策として物価高騰対応中小事業者経営強化・革新事業を開始しております。経営革新への意欲を高めるため、エネルギー使用量の可視化によるGXや工場DXの推進、販路拡大のための展示会出展への支援などを手厚くしたところであります。引き続き、様々な施策により状況の変化に対応できる経営スタイルへの変革を促し地域経済の発展に努めてまいります。

6、令和6年度の生産の目安と農業者支援について。米の需要と供給のバランスを考慮した適切な指標を農業者に示すため、大館市農業再生協議会において、JAあきた北や集出荷事業者、認定農業者の会などと協議した上で、本市の令和6年産主食用米の生産の目安を前年比1,136トン増の2万1,543トン、作付割合を3.4%増の58.5%と定め、1月10日に集出荷事業者に対し通知しております。大館産米はふるさと納税の返礼品としても人気が高く、継続的に提供している渋谷区の小学校からも好評を頂いております。今後も、生産量・販売量を増大させるとともにブランド化の推進により需要の拡大を図り、農業者の所得向上を目指してまいります。一方、重点戦略作物については、引き続き市独自の交付金制度や国の制度を活用した助成を行い、複合経営への取組を支援してまいります。

7、林業振興の取組状況について。1月19日、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー材を活用した木製ベンチ81台を渋谷区に寄贈いたしました。寄贈したベンチは、渋谷区役所をはじめ東京オリンピック・パラリンピックにゆかりのある施設など9か所に設置され御利用いただいております。また、2月7日に完成した渋谷区の複合施設SCC千駄ヶ谷コミュニティセンターには大館市産の秋田杉が使用されています。脱炭素社会の実現に向けて木材の利用を促進するに当たり都市や街の木造化・木質化が課題となっている中で、これらの取組は都市と地方の協働による木材利用促進の新しいモデルと捉えております。今後も渋谷区との連携を深めるとともに、官民一体となって森林活用を推進し森林資源の循環による持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。

8、企業の設備投資と雇用対策の状況について。企業の生産性を高め人手不足の中にあっても業績の拡大につなげるため、昨年9月に大館市工場等設置促進条例の一部を改正し、新規雇用を伴わない設備投資を支援対象に追加いたしました。この制度を活用し、釈迦内産業団地では、北秋容器株式会社が木質チップ増産のため5億円を投じて第2製造工場を新設し12月1日に操業を開始したほか、大館第二工業団地では、段ボール製造を行う株式会社グリーンパッケージが投資額7億円で工場を増築し12月11日に操業を開始、釈迦内地区では、有限会社石田運輸が投資額2億円で低温物流センターを新設し12月15日に操業を開始しております。新規雇用につながった設備投資につきましては、大館バイオ株式会社が釈迦内産業団地において建設を

進めていた木質バイオマス発電施設の操業を12月26日に開始しており、投資額は18億円で、新たに6人の雇用が図られております。一方、今春高校卒業予定者の就職希望状況は、12月末現在、就職希望者158人のうち123人が県内を希望しており、県内希望率は77.8%と高い水準にあります。これに対する市内の求人は、113事業所583人と、希望者数を大きく上回っております。こうした状況を踏まえ、地元企業への理解を深めるため、1月29日に開催した大館・北秋地区企業説明会には高校2年生490人が参加し、44事業者が自社の魅力をPRしました。

9、**大館能代空港の利用状況等について。**令和5年度の乗降客数は、1月末現在で14万8,185人となり、昨年度同期比で2万6,552人増加しました。11月までの月ごとの乗降客数は、ビジネスや観光で訪れる方々に加え圏域住民の皆様にも多く御利用いただいたことから過去最高を記録してはいましたが、12月以降は天候不良等による欠航や羽田空港の滑走路閉鎖の影響により、昨年度実績を下回る結果となりました。運賃助成事業の利用件数については、引き続き堅調に推移していることから、本事業に係る関係予算案を本定例会に提出しておりますのでよろしく御審議をお願い申し上げます。また、大館能代空港利用促進協議会では、広域的な利用促進の取組として12月2日から3月31日まで安比高原リゾートへの予約制貸切バスを運行しているほか、2月9日から12日まで弘前城雪燈籠まつり会場へのジャンボタクシー運行を実施いたしました。さらに2月22日には、一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会の島田代表理事を講師に招き、旅行気運の醸成に向けたセミナーを開催したところです。このほか、大館能代空港利活用大館地域推進会議による市民の翼ツアーが3月26日から1泊2日の日程で4年ぶりに開催されます。HACHI100プロジェクトの後援企業である東急株式会社などの協力を得て、渋谷区を中心にハチ公の歴史を学ぶツアーを企画しております。

10、**未来おおだてサミットについて。**昨年に続き、大館の未来を支える人材の育成を目的に実施し、1月10日から12日までの3日間、本市の中学2年生8人が名古屋市の三菱重工業の工場や都内のANA機体工場などを訪れ、ロケットや飛行機など国内最先端の技術を見学しました。三菱重工業小牧北工場の訪問では本市出身者に工場を案内していただいたほか、交流の場では仕事のやりがいや将来に向けてすべきことなどのお話を伺うことができました。このほか、渋谷区にあるGMOインターネットグループではAIを活用した同社の事業内容を御紹介いただき、一般社団法人シブヤフォントでは障害のある人と学生が共に作り上げた作品に触れさせていただきました。1月22日に行われた参加者の報告会では「最先端の技術」「コミュニケーション」「つながり」「世界に目を向ける」の要点で感想が語られ、本事業が生徒たちの視野を広げるきっかけになったことを実感いたしました。今後も、本市の未来を担う子供たちが様々な経験を通して成長できるよう、そして町を次代へ導く主人公となるよう機会の創出に努めてまいります。

11、**ハチ公生誕100年事業について。**(1)渋谷親子料理教室。1月21日、渋谷区在住の小学生とその保護者を対象に、食をテーマにした関係人口の創出とハチ公生誕100年を記念して開催

いたしました。陽気な母さんの店の御協力で本場大館のきりたんぼ鍋を作ったほか、本市の重点戦略作物である有機栽培の山の芋の試食も行われ、好評をいただきました。

(2)ウインタースクール in 秋田大館。2月10日、11日の2日間、一般財団法人渋谷区観光協会の御協力の下、開催しました。渋谷区の小学生23人が冬の風物詩であるアメッコ市の見学、秋田犬との触れ合いに加え、森吉山の樹氷見学や阿仁スキー場での雪遊び体験など、県北の魅力を満喫していただきました。

(3)ハチ公生誕100年記念交流会。12月2日、ハチ公生誕100年を記念し、渋谷区及び公益社団法人秋田犬保存会との交流会を開催し、長谷部渋谷区長をはじめ多くの関係者の方々に御出席いただきました。秋田犬保存会の遠藤会長からは、今年5月に開催予定の秋田犬保存会本部展覧会の会場を大館市にする見込みとのお話があり、市も協力することを約束してまいりました。

(4)忠犬ハチ公銅像維持会賀詞交歓会。1月19日に開催された賀詞交歓会に、武田議長、忠犬ハチ公銅像及び秋田犬群像維持会の富樫会長らとともに出席いたしました。長谷部渋谷区長をはじめとした参加者の皆様と新年を祝うとともに、ハチ公が生誕100年を迎えたことを契機に関係団体との連携をさらに深めていくことを確認したところです。また、渋谷区からは、スタートアップ企業のワーケーションを本市で行いたいという打診があり、HACHI 100プロジェクトでつながった新たな御縁を大きく育ててまいります。

12、冬季の観光イベントについて。(1)比内とりの市。1月27日、28日の2日間、少雪の影響で主会場を比内体育館前駐車場に変更して開催されました。天候にも恵まれ、昨年より3,000人多い1万6,000人の来場者でにぎわいました。今回で40回目の節目であったことから、比内とりの市実行委員会がかやき鍋の振る舞いや市内園児による塗り絵コンクールなどを企画したほか、とんぶり大使のふかわりょうさんが駆けつけ、東館小学校の児童と一緒にとんぶりダンスを披露し、会場を盛り上げました。さらに台湾のテレビ局が旅番組の撮影に訪れるなど、本市の魅力を広く発信できたものと捉えております。

(2)大館アメッコ市。2月10日、11日の2日間、おおまちハチ公通りを会場に開催されました。好天にも恵まれ8万3,000人の来場者でにぎわいました。祈願祭には観光をはじめ様々な施策で結びつきがある弘前市の櫻田市長にも参加いただいたほか、白ひげ大神巡行や秋田犬パレード、丸鬚行列などで会場は盛り上がりを見せ、名物のからみアメサービスには長蛇の列ができるほど盛況でありました。会場周辺には弘前や盛岡、平泉ナンバーの車両が多く見られたほか外国人観光客の姿もあり、国内旅行とインバウンドの回復を実感したところでもあります。

13、冬のスポーツ事業について。(1)ポッチャ交流会について。11月25日、26日の2日間、タクミアリーナで第4回はちくんオープンを開催しました。タイ王国とのホストタウン交流を記念して創設したイベントで、上位入賞者には渋谷カップへの出場権が与えられ、昨年を大きく上回る35チームが出場する大会に成長しております。1月18日からは、市内各地域で交流や練習の場の提供を目的とした定例交流会はちくんチャレンジを開催しております。試合だけでな

く、参加者がコートの設定や審判など競技運営を行うことを通じて、ボッチャへの理解をより深める場として今後も継続してまいります。また、2月21日には、駅なか交流センターにおいて市内企業を対象とした新駅舎 de ボッチャを開催し、市内で働く若い世代にも広くボッチャを楽しんでいただきました。

(2) **スポーツを通じた共生社会の実現に向けた事業。** 2月17日、市と包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との共催で、ユニバーサルマナーセミナー&車いす体験会チェア輪ピック in 大館をタクミアリーナで開催しました。セミナーでは、高齢者や障害のある方のニーズに応えるための心構えを学んだほか、秋田看護福祉大学と秋田職業能力開発短期大学の学生が企画した車椅子体験会も行われ、車椅子を身近に感じていただく機会となりました。

(3) **SOMP O ボールゲームフェスタ。** 12月3日、タクミアリーナにおいて多くの企業に協賛いただき開催しました。小学生を中心に190人が参加し、トップアスリートからボールスポーツの楽しさを学び、スポーツへの関心を高めてもらう機会になりました。今後もこうした企業との連携を広げ、次世代を担う子供たちのスポーツインライフの推進とあらゆる世代のスポーツを通じた生きがいや健康づくり、そして世代間交流を図るとともにユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーの醸成に努めてまいります。

14、**体力づくり優秀組織表彰（文部科学大臣賞）受賞について。** 令和5年度体力づくり優秀組織表彰において文部科学大臣賞を受賞しました。地域、職域で健康・体力づくりを組織的に推進し顕著な成果を挙げている組織を表彰するもので、本市が市民・企業が参加するスポーツイベントの開催やパラスポーツの普及により障害への理解を高めてきたこと、スポーツコミッション大館を軸としてトップスポーツの大会誘致や講習会の開催などで市民がスポーツに触れる機会を創出してきたことが評価されたものです。2月9日に愛媛県松山市で行われた表彰式には、武田議長御同行の下、室伏スポーツ庁長官から表彰状を頂きました。これまでの市民の皆様や市内企業の取組に改めて感謝申し上げるとともに、スポーツを通じて日常生活をよりよいものとするライフパフォーマンスの向上に取り組んでまいります。

15、**今冬の除雪状況について。** 今冬は、昨シーズンと同日の11月29日に初雪を観測した後、12月下旬にはまとまった降雪があったものの、2月16日現在の累計降雪量は146センチメートルと平成20年以降で最少となっており、除雪出動回数も例年より大幅に少なくなっております。除雪経費につきましては、2月16日時点での予算執行見込額は3億9,100万円で、昨年度の決算額の約43%となっております。現在、バス会社などからも情報を頂きながら、路面欠損部の早期補修に注力しているところであり、引き続き道路パトロールを強化してまいります。

16、**自動運転移動サービスの実証運行について。** 高齢化や免許返納により公共交通機関の需要が増加する一方で、ドライバー不足が顕在化している現状を踏まえ、将来の公共交通再編に当たり自動運転技術を導入することを視野に、11月20日から30日にかけて自動運転移動サービ

スの実証運行を行いました。比内町扇田地区の1周約4キロメートルの公道で、必要に応じてドライバーが手動介入する自動運転レベル2の車両を使用して実施し、一般市民や関係者を含め136人に体験していただきました。体験後のアンケートでは、乗車中に危険を感じなかったとの回答が80%、将来公共交通に自動運転を用いることについて賛成・やや賛成を合わせて88.5%と、好意的な意見が多数を占めたところです。また、今回の実証運行に際しビジネスモデルの構築や社会受容性の醸成を図るため、大館版自動運転移動サービス推進協議会を設立しております。交通事業者や扇田まちづくり協議会などに参画いただき、国や県のアドバイザーを交えながら自動運転をどのように活用していくかという議論を進めてまいりました。今後も、自動運転技術を活用した移動サービスの導入に向け、経営面、技術面、社会受容性など社会実装に向けた課題を把握するため、推進協議会の御意見を伺いながら実証運行を続けてまいります。

17、**児童・生徒の交流研修事業について**。1月9日から12日までの4日間、本市の小学5、6年生15人が友好交流都市である南種子町を訪問し、種子島宇宙センターの見学や世界自然遺産に登録された屋久島での自然体験のほか、南種子町の児童生徒16人とグループワークを通じて交流を深めました。また、2月9日と10日の2日間、本市子どもサミットを代表する小・中学生11人が釜石市を訪問し、同市の小・中学生で組織するかまいし絆会議の代表28人と交流しました。地域をよりよくするために何ができるかをテーマに各校の取組を紹介したほか、防災活動について話し合い命の大切さや防災への理解を深めました。今後も、地域間交流の場で大館の魅力を発信し、多様で豊かな体験を通して未来大館市民の資質を高めるとともに、子供たちの夢と希望を応援する各種交流研修事業を進めてまいります。

18、**フューチャー・ドクター・セミナー in 大館の開催について**。2月23日、弘前大学大学院医学研究科内に設置された大館・北秋田地域医療推進学講座と大館市立総合病院の主催で、総合病院を会場に開催されました。本セミナーは医療職への理解を深めてもらうとともに、将来の地域医療を担う医師は地域から育てほしいとの願いから行われたもので、大館市のほか秋田市や能代市からも医師を目指す高校生34人が参加しました。弘前大学の医師16人が指導に当たり、最新の内視鏡治療についての説明や内視鏡検査の体験、実際の手術で使用している超音波メスを用いた模擬手術体験などを通じ医師の仕事の内容や役割を学びました。今後も、弘前大学医学部や秋田県などの関係機関との連携を深めながら、秋田県の医療の中核を担う自治体病院として将来の地域医療を支える人材の育成に取り組んでまいります。

続きまして、提出いたしました議案について主な内容を御説明申し上げます。

報第1号及び**報第2号**は、専決処分¹の報告についてであります。報第1号は、令和5年10月11日に字中城地内の市道城南古川町線の交差点において、本市所有の軽貨物自動車と軽乗用自動車²が接触した事故について、報第2号は、令和5年9月30日に比内町扇田字南大岱地内において、熊の捕獲活動中に駐車していた軽貨物自動車の一部を破損させた事故についての和解及

び損害賠償であります。これらにつきまして、相手方と和解に至ったことから、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので御報告申し上げるものであります。

報第3号は、令和4年度大館市下水道事業会計継続費精算報告書であります。これは、平成29年度から5年間の継続費を設定して実施しておりました川口地区ほか公共下水道整備事業が完了しましたので、継続費の精算について御報告申し上げるものであります。

認第1号は、大館市手数料条例の一部を改正する条例に係る専決処分の承認についてであります。

これは、戸籍法及び関連する政令の一部が改正され、その一部が本年3月1日から施行されることに伴い、本市においても戸籍の謄抄本の広域交付等についての規定を追加し早急に対応する必要がありましたことから、条例の一部改正について地方自治法第179条第1項の規定に基づき1月31日付で専決処分をさせていただいたものであります。

認第2号は、令和5年度大館市一般会計補正予算（第11号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、物価高騰対策として、市民税均等割非課税世帯及び家計急変世帯への1世帯当たり7万円の給付や灯油購入費の一部助成のほか、福祉施設等などに対する光熱水費等の助成、畜産経営者や農業経営者、中小事業者に対する補助事業に早急に着手する必要がありましたことから、歳入歳出とも8億1,143万9,000円を追加計上することについて令和5年12月20日付で専決処分させていただいたものであります。

認第3号は、令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第5号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、収益的収入に物価高騰対策に係る補助金1,851万2,000円を追加計上することについて令和5年12月20日付で専決処分させていただいたものであります。

認第4号は、令和5年度大館市一般会計補正予算（第12号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、住民税均等割のみ課税世帯に1世帯当たり10万円を、また低所得者の子育て世帯に児童1人当たり5万円を給付する事業に早急に着手する必要がありましたことから、関係予算として歳入歳出とも2億3,974万8,000円を追加計上することについて本年1月31日付で専決処分させていただいたものであります。

議案第1号から議案第36号までの36件は、近年の物価高騰の状況を踏まえ、本市の施設の使用料及び利用料金上限額を見直そうとするものであります。

このうち、議案第9号では北地区コミュニティセンターの老朽化した附属設備を廃止することについて、議案第24号では都市計画公園の見直しにより未整備の稲荷中岱運動公園を廃止することについて、議案第25号では法律の一部改正に伴い所要の措置を講ずることについて、議

案第33号では老朽化した花岡体育館を廃止することについて、議案第36号では市立総合病院に開設する訪問看護ステーションに係る使用料を規定することについて、それぞれ併せて改正しようとするものであります。

議案第37号は、議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、議会の議員報酬月額について本年4月分から引き上げようとするものであります。

議案第38号は、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、本市の職員を派遣することができる団体に公益社団法人大館市シルバー人材センターを加えようとするものであります。

議案第39号は、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、市長、副市長及び教育長の給料月額について本年4月分から引き上げようとするものであります。

議案第40号は、大館市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給について規定するほか、任用中においても報酬等の額を改定することができるよう所要の措置を講じようとするものであります。

議案第41号は、大館市新型コロナウイルス感染症対策基金に関する条例を廃止する条例案であります。

これは、大館市新型コロナウイルス感染症対策基金について、所期の目的が達成されたことからこれを廃止しようとするものであります。

議案第42号は、大館市手数料条例の一部を改正する条例案であります。

これは、住民票等のコンビニ交付サービスの利用を促進し市民の利便性の向上を図るため、多機能端末機で住民票等を交付する場合の手数料を引き下げようとするものであります。

議案第43号は、大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、国の示す基準の一部が改正され、施設の運営規程等の重要事項についてインターネットを利用して公衆の閲覧に供しなければならないことなどが規定されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第44号は、大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案であります。

これは、入所児童数が減少し集団保育が困難となっている花岡保育所を、本年3月31日をもって廃止しようとするものであります。

議案第45号は、大館市立老人福祉センターに関する条例を廃止する条例案であります。

これは、老朽化した老人福祉センターを廃止しようとするものであります。

議案第46号から議案第49号までの4件は、いずれも介護保険法の規定に基づき、国が示す基準の一部が改正され管理者の兼務範囲の明確化及び身体的拘束等の適正化等が定められたことから、本市においても所要の措置を講ずるとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第50号から議案第52号までの3件は、いずれも施設の廃止に係る条例案であり、議案第50号は、設置から25年を経過し所期の目的を達成したことから大館市農林水産物直売施設を廃止しようとするもの、議案第51号及び議案第52号は、老朽化した大館市農村婦人の家及び大館市高齢者生産活動施設を廃止しようとするものであります。

議案第53号は、大館市建築関係手数料条例の一部を改正する条例案であります。

これは、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律及び同法施行規則の一部改正に伴い、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第54号は、大館市消防団員の服務及び懲戒に関する条例案であります。

これは、消防団員の服務及び懲戒処分に関する規定を見直すとともに、関係する条例の一部を改正しようとするものであります。

議案第55号は、大館市空家等対策の推進に関する条例及び大館市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例案であります。

これは、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部が改正され、空き家等の所有者の責務として市の施策への協力が努力義務として定められるとともに管理不全空家等について定義されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第56号は、大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地方自治法の一部が改正されたことに伴い、条例で引用している条項にずれが生ずることから所要の措置を講じようとするものであります。

議案第57号から議案第59号までの3件は、いずれも水道整備・管理行政の移管に伴い、水道法の一部が改正されたことから所要の措置を講じようとするものであります。

このうち、議案第58号及び議案第59号は、併せて料金の算定方法に関する規定を見直そうとするものであります。

議案第60号は、大館市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地方自治法の一部が改正されたことに伴い条例で引用している条項にずれが生ずることから、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第61号は、大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約の締結についてであります。

これは、本工事について去る1月25日に条件付一般競争入札を行ったところ、株式会社伊藤

羽州建設が4億568万円で落札したものであります。この請負契約の締結については、予定価格が1億5,000万円以上であることから、地方自治法及び本市条例の規定に基づき議会の議決をお願いするものであります。

議案第62号は、基本構想の策定についてであります。

これは、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、令和6年度から9年度までの4年間を計画期間として新しいまちづくりの指針となるおおだて未来づくりプランの基本構想を策定しようとするものであります。

議案第63号は、旧慣使用权の廃止についてであります。

これは、秋田県の通常砂防事業用地として土地を処分するため、山館部落が有する旧慣使用权を廃止しようとするものであります。

議案第64号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、起終点に変更が生じる道路を廃止しようとするものであります。

議案第65号は、市道路線の認定についてであります。

これは、都市計画法及び大館市開発指導要綱に基づく開発行為に伴い築造された道路及び起終点に変更が生じる道路等を市道に認定し管理しようとするものであります。

議案第66号は、令和5年度大館市一般会計補正予算（第13号）案であります。

今回の補正は、基金積立金の追加及び令和5年度の各事業費の精算などが中心となっており、歳入歳出ともに14億8,838万7,000円を追加し、補正後の予算総額は423億6,217万5,000円となる見込みであります。歳入の補正の主な内容について申し上げます。市税及び地方交付税を追加、国庫支出金で物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を追加、寄附金でふるさと応援寄附金を追加、繰入金で財政調整基金繰入金を減額、市債で地域総合整備資金貸付事業債、臨時財政対策債を減額及び減収補填債を計上しております。次に、歳出の補正の主な内容を申し上げます。総務費ではふるさと応援寄附基金などの各積立金を追加したほか、減債基金積立金を計上、商工費で野遊びSDGs推進事業費を減額、土木費に生活バス路線維持費補助金を計上しております。

また、第2条第2表に継続費の補正を、第3条第3表には26件の繰越明許費を、第4条第4表には22件の地方債の補正について、それぞれ御提案申し上げます。

議案第67号から議案第78号までの12件は、令和5年度各特別会計における補正予算案であります。

主なものについて申し上げますと、議案第67号は、保険給付費の増などに伴う大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正は1億2,872万7,000円の追加で、補正後の予算総額は69億3,638万2,000円となる見込みであります。議案第69号は、保険給付費の減などに伴う大館市介護保険特別会計補正予算（第4号）案であり、今回の補正は2億224万8,000円の減額で、補正後の予算総額は108億7,020万6,000円となる見込みであります。

そのほか、いずれの特別会計についても、事業費の精算と併せて所要の補正を行うものであります。

議案第79号は、令和5年度大館市水道事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では給水収益の減額等により15億5,125万5,000円となり、支出では動力費、修繕費の減額等により14億7,175万4,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出です。補正後の予算総額は、各事業費の精算等により収入では5億1,466万6,000円となり、支出では11億9,393万8,000円となる見込みです。

このほか、第5条に企業債の限度額、第6条に経費の流用に関する事項、第7条に他会計からの補助金についてそれぞれ変更をお願いしております。

議案第80号は、令和5年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では給水収益の減額等により8,272万8,000円となり、支出では動力費、手数料の減額等により8,218万2,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債の減額により8,000円となり、支出では工事請負費の減額により7,391万円となる見込みであります。

このほか、第5条に企業債に関する事項、第6条に他会計からの補助金についてそれぞれ変更をお願いしております。

議案第81号は、令和5年度大館市下水道事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入では消費税及び地方消費税還付金の減額等により13億7,699万9,000円、支出では減価償却費及び企業債利息の減額等により15億6,721万5,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出です。補正後の予算総額は、収入、支出ともに各事業費の精算等により収入では24億6,013万2,000円となり、支出では29億9,044万5,000円となる見込みです。

このほか、第5条に企業債の限度額、第6条に経費の流用に関する事項、第7条に他会計からの補助金についてそれぞれ変更をお願いしております。

議案第82号は、令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第6号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入では入院患者数の減少等により127億1,452万円となり、支出では材料費の減額等により133億3,483万4,000円となる見込みです。次に、資本的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入、支出ともに各事業費の精算等により収入では12億5,852万2,000円となり、支出では16億611万4,000円となる見込みです。

このほか、第5条に企業債の限度額、第6条に経費の流用に関する事項、第7条に他会計からの補助金についてそれぞれの事項の変更をお願いしております。

議案第83号は、令和6年度大館市一般会計予算案であります。

当初予算の総額は363億571万6,000円となり、骨格予算であった前年度当初予算対比で15億

4,258万4,000円、4.4%の増となっています。また、前年度6月補正後の予算との対比では20億2,637万7,000円、5.3%の減であります。これは、大館駅周辺整備事業や新型コロナウイルス感染症対策事業の終了が主な要因であります。最初に、歳出から主な内容を御説明申し上げます。総務費では本庁舎建設事業費、ふるさと応援寄附推進事業費などで40億5,746万3,000円を計上、民生費では障害者自立支援給付費、生活保護扶助費など121億5,042万2,000円を計上、衛生費では病院事業への負担金等のほか、斎場建設事業費、クリニックスタートアップ支援事業費など49億3,467万8,000円を計上、農林水産業費では県営土地改良事業費、多面的機能支払交付金事業費など10億3,200万9,000円を計上、商工費には中小企業金融対策事業費など15億1,862万5,000円を計上、土木費には包括管理業務費や道路メンテナンス補助事業費など27億6,401万1,000円を計上、消防費には消防署北分署庁舎建設事業費など17億1,301万4,000円を計上、教育費には体育施設工事費や放課後児童健全育成事業費など34億6,694万6,000円を計上しております。次に、歳入について主な内容を申し上げます。基幹収入であります市税は74億8,787万5,000円で、前年度当初予算対比で1億6,942万2,000円、2.2%の減となっております。これは定額減税の影響で市民税個人分が2億6,000万円程度減少するため、この減少分は地方特例交付金で補填される仕組みとなっております。地方交付税は115億7,000万円で、地方財政計画における伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比で1億円、0.9%の増、国庫支出金では障害者自立支援給付費負担金、生活保護費負担金など43億3,191万6,000円を計上、県支出金では子どものための教育・保育給付費負担金、福祉医療費補助金など23億8,737万7,000円を計上、繰入金に財政調整基金繰入金やふるさと応援寄附基金繰入金など24億579万9,000円を計上、市債に庁舎等整備事業債や斎場整備事業債、道路橋梁整備事業債など34億1,570万円を計上しています。

このほか、第2条第2表に1件の継続費の設定を、第3条第3表に15件の債務負担行為の設定を、第4条第4表に25件の地方債の限度額等の設定を、第5条に一時借入金の限度額の設定を、また、第6条には予算の流用に関する事項について、それぞれ御提案申し上げます。

議案第84号から議案第97号までの14件は、令和6年度各特別会計における予算案であり、特別会計の当初予算総額は、189億2,113万7,000円となっております。

主なものについて申し上げます。議案第84号は大館市国民健康保険特別会計予算案で、予算総額は65億51万5,000円、議案第86号は大館市介護保険特別会計予算案で、予算総額は104億8,386万6,000円、議案第92号は大館市農業集落排水事業特別会計予算案で、予算総額は4億578万9,000円、議案第95号は大館市都市計画事業特別会計予算案で、予算総額は2億772万円となっております。

議案第98号は、令和6年度大館市水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は15億4,923万7,000円、支出は14億9,503万5,000円です。次に、資本的収入及び支出です。収入は3億2,080万9,000円とし、支出は10億

6,478万3,000円であります。

議案第99号は、令和6年度大館市工業用水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は8,551万5,000円、支出は8,471万9,000円としております。次に、資本的収入及び支出です。収入は8,000円、支出は8,012万円であります。

議案第100号は、令和6年度大館市下水道事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は13億9,212万6,000円、支出は16億5,809万5,000円であります。次に、資本的収入及び支出です。収入は14億5,715万9,000円、支出は20億1,583万8,000円であります。

議案第101号は、令和6年度大館市病院事業会計予算案であります。

最初に、収益的収入及び支出です。収入は128億7,325万7,000円、支出は133億3,587万1,000円あります。次に、資本的収入及び支出であります。収入は7億5,388万3,000円、支出は11億254万5,000円あります。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（武田 晋君） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（武田 晋君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、3月4日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時08分 散 会
